

14時30分解禁

平成25年3月 全国百貨店売上高概況

平成25年4月18日

I. 概況

1. 売上高総額	5,447億円余
2. 前年同月比	3.9% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 調査対象百貨店	85社 244店 (平成25年2月対比-1社1店)
4. 総店舗面積	6,230,569㎡ (前年同月比:-1.8%)
5. 総従業員数	81,174人 (前年同月比:-4.2%)
6. 3か月移動平均値	8-10月 -1.3%、9-11月 -0.1%、10-12月 -0.5%、 11-1月 0.2%、12-2月 -0.4%、1-3月 1.5%

【参考】平成24年3月の売上高増減率は14.1% (店舗数調整後)

【3月売上の特徴】

3か月連続のプラスとなり、増加率も3.9%と大きな伸びを示した。

今年3月は、例年に比べ気温が高く晴れの日が続くなど好天に恵まれたことで、この時期主力の春物衣料(衣料品:+4.8%)が活発に動いたほか、一段の株価上昇に伴う資産効果や、景気回復への期待感を背景にした消費意欲の高まりから、ラグジュアリーブランド(身のまわり品:+9.2%)や宝飾品・高級時計(美・宝・貴:+15.6%)などの高額商材が極めて好調に推移し、商況全体を押し上げる要因となった。また、前月のバレンタイン同様にホワイトデー商戦(菓子:+2.6%)も堅調であったこと、気温上昇で花見商戦(惣菜:+0.2%)が当月に前倒しされたことなど、細かなプラス要素も重なり、最終的に前年実績を大きく上回る結果となった。

その他当月の特徴的な動向としては、増床・改装効果のある東京や大阪など大都市(10都市:+5.6%)が牽引したほか、地方も前年をクリア(10都市以外:+0.7%)したこと、訪日外国人は、アセアン諸国の急伸や、円安効果(訪日旅行の割安感)を追い風に、売上・客数共に大幅増(売上:+72.6%、客数:+53.1%)となり、最近の増勢に弾みがついていること、などが報告されている。

【要因】

(1) 天候：気象庁発表「3月の天候」の特徴は以下のとおり(一部抜粋)

◇ 東日本以西では、南からの暖かい空気の影響で気温が高い日が多く、月平均気温はかなり高かった。また、移動性高気圧に覆われることが多く降水量がかなり少なかった。北日本では月初めに暴風雪となり大きな影響が出た。

(2) 営業日数増減 30.9日(前年同月比+0.2日)

(3) 土・日・祝日の合計 11日(〃 +1日/日曜日・1日増)

(4) 入店客数増減(回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数134店舗)

①増加した:37店、②変化なし:35店、③減少した:62店

(5) 3月歳時記(ひな祭り、ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数107店舗)

①増加した:36店、②変化なし:62店、③減少した:9店

(6) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数168店舗)

①増加する:12店、②変化なし:102店、③減少する:16店、④不明:38店

全国百貨店 売上高速報 2013年03月

第1表 地区別売上高

※店舗数調整後 ()が調整前

地 区	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
全 国	544,761,801	100.0	3.9 (3.3)
10都市	358,844,299	65.9	5.6 (5.0)
札幌	13,540,366	2.5	3.6
仙台	7,826,070	1.4	3.7
東京	137,793,598	25.3	6.4 (5.5)
横浜	31,234,885	5.7	4.0
名古屋	34,122,698	6.3	6.5
京都	21,005,802	3.9	2.3
大阪	71,425,326	13.1	9.0
神戸	13,843,908	2.5	3.8 (-2.8)
広島	11,145,339	2.0	-6.2
福岡	16,906,307	3.1	3.1
10都市以外の地区	185,917,502	34.1	0.7 (0.2)
北海道	3,331,554	0.6	-0.2
東北	10,321,303	1.9	1.7
関東	89,781,235	16.5	0.5 (-0.2)
中部	13,878,727	2.5	0.5
近畿	17,819,638	3.3	2.6
中国	12,302,664	2.3	0.6 (-2.3)
四国	10,132,532	1.9	2.6
九州	28,349,849	5.2	-0.2

第2表 商品別売上高

商 品 別	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	544,761,801	100.0	3.9 (3.3)
紳士服・洋品	36,568,846	6.7	8.6 (8.1)
婦人服・洋品	129,583,362	23.8	5.1 (4.5)
子供服・洋品	22,185,062	4.1	1.2 (0.5)
その他衣料品	12,617,529	2.3	-2.2 (-2.5)
衣 料 品	200,954,799	36.9	4.8 (4.2)
身のまわり品	69,991,339	12.8	9.2 (7.8)
化粧品	30,084,366	5.5	3.9 (3.5)
美術・宝飾・貴金属	26,189,725	4.8	15.6 (15.1)
その他雑貨	22,275,991	4.1	0.1 (0.0)
雑 貨	78,550,082	14.4	6.4 (6.1)
家 具	7,321,273	1.3	6.6 (6.0)
家 電	1,507,469	0.3	-16.1 (-16.2)
その他家庭用品	17,947,162	3.3	-1.4 (-2.2)
家 庭 用 品	26,775,904	4.9	-0.3 (-1.0)
生 鮮 食 品	26,307,062	4.8	-2.2 (-2.4)
菓 子	45,005,073	8.3	2.6 (2.3)
惣 菜	28,944,170	5.3	0.2 (0.0)
その他食料品	35,932,937	6.6	-0.5 (-1.2)
食 料 品	136,189,242	25.0	0.3 (-0.1)
食 堂 喫 茶	15,783,067	2.9	3.4 (3.0)
サ ー ビ ス	5,824,455	1.1	1.8 (1.7)
そ の 他	10,692,913	2.0	-2.9 (-4.3)
商 品 券	16,032,870	2.9	-5.3 (-5.6)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。商品券は総額に含まれません。また、商品券の構成比は、総額に対する比率です。本統計には消費税は含まれておりません。

Ⅱ. 地区別の動き

- | | |
|------------------|---------------------------------|
| 1. 10都市売上動向 | 5.6% (店舗数調整後／3か月連続プラス) |
| 2. 10都市以外の地区売上動向 | 0.7% (〃 ／4か月ぶりプラス) |

【地区別売上前年比の寄与度とトレンド】

地区	売上前年比	寄与度	トレンド
10都市	5.6	3.6	3か月連続プラス
札幌	3.6	0.1	4か月ぶりプラス
仙台	3.7	0.1	11か月ぶりプラス
東京	6.4	1.6	3か月連続プラス
横浜	4.0	0.2	4か月ぶりプラス
名古屋	6.5	0.4	5か月連続プラス
京都	2.3	0.1	4か月ぶりプラス
大阪	9.0	1.1	5か月連続プラス
神戸	3.8	0.1	2か月ぶりプラス
広島	-6.2	-0.1	2か月連続マイナス
福岡	3.1	0.1	3か月連続プラス
10都市以外の地区	0.7	0.3	4か月ぶりプラス
北海道	-0.2	0.0	12か月連続マイナス*
東北	1.7	0.0	6か月ぶりプラス*
関東	0.5	0.1	4か月ぶりプラス
中部	0.5	0.0	12か月ぶりプラス
近畿	2.6	0.1	2か月ぶりプラス
中国	0.6	0.0	3か月連続プラス*
四国	2.6	0.0	4か月ぶりプラス
九州	-0.2	0.0	4か月連続マイナス*

(注) 北海道、東北、中国、九州については、2006年1月からそれぞれ札幌、仙台、広島、福岡を10都市に移行した。(2005年までは6大都市)

Ⅲ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品と雑貨が5か月連続のプラス、衣料品が4か月ぶり、食料品が2か月ぶりのプラス。家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。また、美術・宝飾・貴金属が7か月連続、菓子が3か月連続、家具が2か月連続のプラス、化粧品、惣菜が2か月ぶり、紳士服・洋品、婦人服・洋品、子供服・洋品が4か月ぶり、その他雑貨が12か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	3.9	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	8.6	0.6	4か月ぶりプラス
婦人服・洋品	5.1	1.2	4か月ぶりプラス
子供服・洋品	1.2	0.1	4か月ぶりプラス
その他衣料品	-2.2	-0.1	4か月連続マイナス
衣料品	4.8	1.8	4か月ぶりプラス
身のまわり品	9.2	1.1	5か月連続プラス
化粧品	3.9	0.2	2か月ぶりプラス*
美術・宝飾・貴金属	15.6	0.7	7か月連続プラス*
その他雑貨	0.1	0.0	12か月ぶりプラス*
雑貨	6.4	0.9	5か月連続プラス
家具	6.6	0.1	2か月連続プラス
家電	-16.1	-0.1	2か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-1.4	0.0	4か月連続マイナス
家庭用品	-0.3	0.0	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-2.2	-0.1	12か月連続マイナス*
菓子	2.6	0.2	3か月連続プラス*
惣菜	0.2	0.0	2か月ぶりプラス*
その他食料品	-0.5	0.0	2か月連続マイナス*
食料品	0.3	0.1	2か月ぶりプラス
食堂喫茶	3.4	0.1	5か月連続プラス
サービス	1.8	0.0	2か月ぶりプラス
その他	-2.9	-0.1	3か月連続マイナス
商品券	-5.3	-0.2	25か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

平成25年3月 東京地区百貨店売上高概況

平成25年4月18日

I. 概 況

1. 売上高総額	1,377億円余
2. 前年同月比	6.4% (店舗数調整後/3か月連続プラス)
3. 店頭・非店頭 の増減	店頭7.6%(89.2%) : 非店頭-1.9%(10.8%) ()内は店頭・非店頭の構成比
4. 調査対象百貨店	13社 26店 (平成25年2月対比±0店)
5. 総店舗面積	910,528㎡ (前年同月比:-0.6%)
6. 総従業員数	18,356人 (前年同月比:-1.6%)
7. 3か月移動平均値	8-10月 -0.3%、9-11月 0.9%、10-12月 0.1%、 11-1月 0.7%、12-2月 0.3%、1-3月 3.2%

[参考] 平成24年3月の売上高増減率は26.7%

【3月売上の特徴】

- (1) 都内の入店客数は、増床・改装店舗を除くとほぼ前年並みであったが、高額消費や買い回り効果から客単価が上昇し、売上を大きく押上げる結果となった。
- (2) 高級時計については多くの店で5割増を記録した。ハイエンドゾーンだけでなく数十万円クラスの入門編まで裾野広く動きが見られた。この他高額商材では、絵画についても洋画を中心として、100万円を超える中堅作品の引き合いが多かった。
- (3) 衣料品は極めて好調に推移し婦人(+11.1%)・紳士(+13.8%)共に二桁増だった。前月の需要が後倒しされたこともあり、ジャンルを問わず全アイテムで活況だった。
- (4) 婦人服の活況に連動する形で服飾雑貨(身のまわり品:+13.8%)も良く動いた。特に婦人靴は都内のほぼ全店で軒並み二桁増を記録した。
- (5) 4月中旬までの商況は、上旬の気温低下など天候不順があったものの、ほぼ前年並みで推移している。3月の流れを受けて高額商材に引き続き動きが見られる。

【要 因】

- (1) 営業日数増減 31.0日 (前年同月比±0.0日)
- (2) 入店客数増減 (回答店舗数で見る傾向値/前年同月比/有効回答数19店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 6店
- (3) 3月歳時記(ひな祭り、ホワイトデー、卒業・入学、新生活)の売上(同上/有効回答数14店舗)
 - ①増加した: 6店、②変化なし: 7店、③減少した: 1店
- (4) 翌月売上見通し(回答店舗数で見る傾向値/有効回答数20店舗)
 - ①増加する: 1店、②変化なし: 15店、③減少する: 3店、④不明: 1店

東京地区百貨店 売上高速報 2013年03月

※店舗数調整後 ()が調整前

	売上高(千円)	構成比(%)	対前年増減(-)率 (%) ※
総 額	137,793,598	100.0	6.4 (5.5)
紳士服・洋品	11,147,659	8.1	13.8
婦人服・洋品	30,074,032	21.8	11.1 (9.9)
子供服・洋品	5,336,141	3.9	-0.8
その他衣料品	2,382,784	1.7	-2.7
衣 料 品	48,940,616	35.5	9.5 (8.8)
身のまわり品	19,123,600	13.9	13.8 (10.7)
化粧品	7,470,725	5.4	7.0
美術・宝飾・貴金属	8,102,256	5.9	20.0
その他雑貨	6,704,296	4.9	-1.5
雑 貨	22,277,277	16.2	8.5
家 具	2,202,777	1.6	4.5
家 電	812,541	0.6	-24.2
その他家庭用品	4,401,804	3.2	-10.1 (-11.4)
家 庭 用 品	7,417,122	5.4	-8.2 (-9.0)
生 鮮 食 品	4,674,829	3.4	-1.5
菓 子	10,698,208	7.8	2.9
惣 菜	6,610,912	4.8	1.0
その他食料品	8,667,872	6.3	0.6 (-0.9)
食 料 品	30,651,821	22.2	1.2 (0.7)
食 堂 喫 茶	3,408,190	2.5	3.0 (1.9)
サ ー ビ ス	2,323,538	1.7	0.9
そ の 他	3,651,434	2.6	6.4 (1.8)

注) 構成比は計算処理上必ずしも100%にはなりません。

本統計には消費税は含まれておりません。

対前年増減(-)率 (%)
※

商 品 券	3,607,193 千円	-13.9 (-14.2)
従 業 員 数	18,356 人	-1.6
店 舗 面 積	910,528 m ²	-0.6

営 業 日 数	31.0 日	前年	31.0 日
---------	--------	----	--------

Ⅱ. 商品別の動き

主要5品目では、身のまわり品が5か月連続、食料品が3か月連続、衣料品が2か月連続、雑貨が2か月ぶりのプラス。家庭用品が2か月ぶりのマイナスとなった。また、化粧品が8か月連続、美術・宝飾・貴金属、菓子、その他食料品が3か月連続、紳士服・洋品、婦人服・洋品、家具が2か月連続、惣菜が2か月ぶりのプラスとなった。

【商品別売上前年比の寄与度とトレンド】

商品別	売上前年比	寄与度	トレンド
総額	6.4	—	3か月連続プラス
紳士服・洋品	13.8	1.0	2か月連続プラス
婦人服・洋品	11.1	2.3	2か月連続プラス
子供服・洋品	-0.8	0.0	4か月連続マイナス
その他衣料品	-2.7	-0.1	2か月連続マイナス
衣料品	9.5	3.3	2か月連続プラス
身のまわり品	13.8	1.8	5か月連続プラス
化粧品	7.0	0.4	8か月連続プラス*
美術・宝飾・貴金属	20.0	1.0	3か月連続プラス*
その他雑貨	-1.5	-0.1	11か月連続マイナス*
雑貨	8.5	1.3	2か月ぶりプラス
家具	4.5	0.1	2か月連続プラス
家電	-24.2	-0.2	4か月ぶりマイナス
その他家庭用品	-10.1	-0.4	11か月連続マイナス
家庭用品	-8.2	-0.5	2か月ぶりマイナス
生鮮食品	-1.5	-0.1	2か月連続マイナス*
菓子	2.9	0.2	3か月連続プラス*
惣菜	1.0	0.1	2か月ぶりプラス*
その他食料品	0.6	0.0	3か月連続プラス*
食料品	1.2	0.3	3か月連続プラス
食堂喫茶	3.0	0.1	5か月連続プラス
サービス	0.9	0.0	4か月ぶりプラス
その他	6.4	0.2	2か月連続プラス
商品券	-13.9	-0.5	23か月連続マイナス

(注) 化粧品、美術・宝飾・貴金属、その他雑貨、生鮮食品、菓子、惣菜、その他食料品については2006年1月から細分化した。

お問い合わせは、日本百貨店協会 森・佐藤・西田まで
TEL 03-3272-1666 ホームページアドレス <http://www.depart.or.jp>